



2018.12.5 (水) 13:00~16:00

平成30年度 障害学生支援専門テーマ別セミナー  
【発達障害就労支援】分科会2「発達障害者の安定的な雇用を考える」

# 就職後のフォローアップ支援から 見えてきた本人の成長と今後の展望

富山大学 卒業生 会社員 **アスカ**

富山大学教育・学生支援機構 学生支援センター  
アクセシビリティ・コミュニケーション支援室

**日下部 貴史**



# 本日の話の流れ

1. はじめに
2. 富山大学における社会参入支援
3. 事例 : ① 当事者の視点から  
② 支援者の視点から
4. フォローアップ支援を通して見えてきたこと



# 1. はじめに

話題提供の趣旨



## 話題提供の趣旨

- 平成19年：富山大学アクセシビリティ・コミュニケーション支援室を設置し  
発達障害のある学生支援を開始
- 平成28年：障害者差別解消法  
- 「不当な差別的取扱いの禁止」や「合理的配慮の提供」
- 平成28年：改正障害者雇用促進法  
- 「差別的取扱いの禁止」「合理的配慮の提供義務」
- 平成29年：「障害のある学生への修学支援に関する検討会報告  
(第二次まとめ)」
- 本話題提供では、今年度でフォローアップ支援を受けて6年目に入る卒業生のアスカさんの事例を通してフォローアップ支援から見えてきた本人の成長と今後の展望について話題提供したい



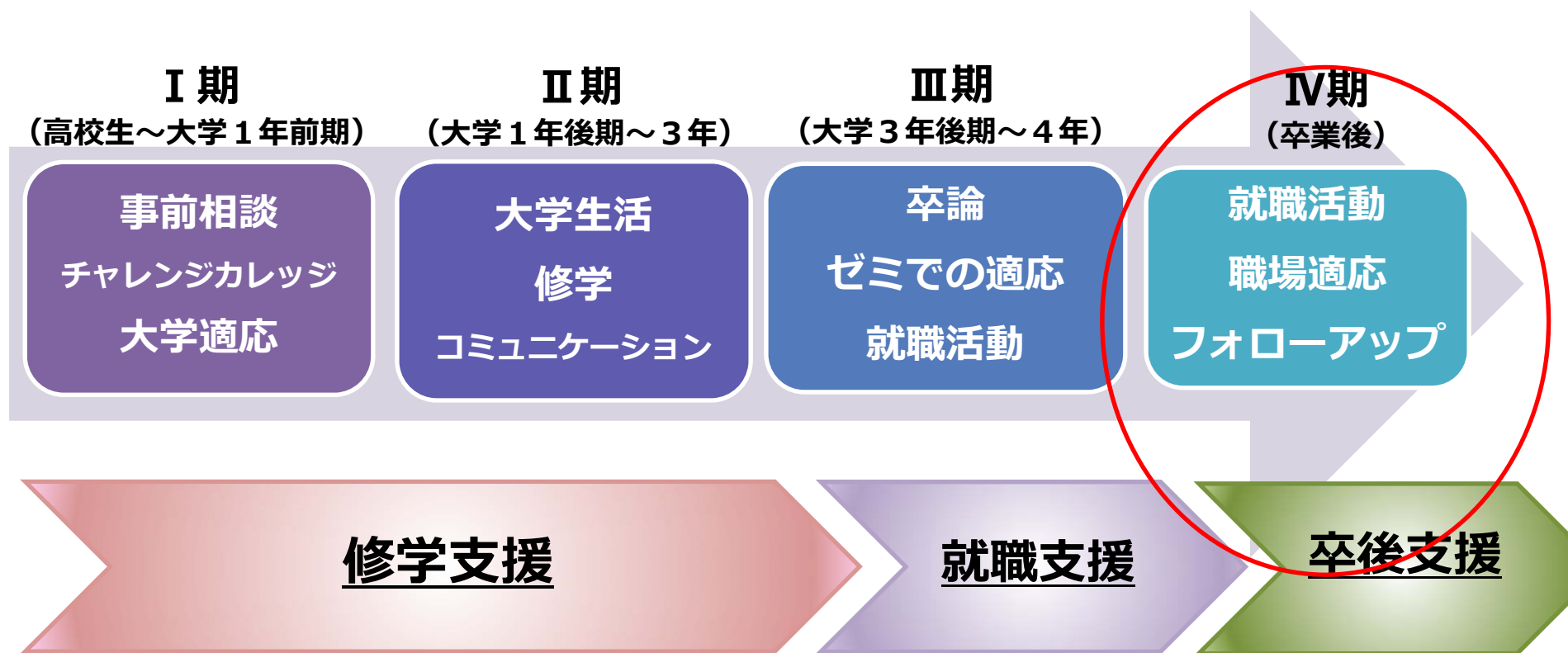
## 2. 富山大学における社会参入支援

発達障害学生に対する社会参入支援

フォローアップ支援の概要



# 富山大学 発達障害学生に対する社会参入支援



学生が新しい環境（社会）へ参入するプロセスを一貫して支援すること

## フォローアップ支援の概要

◆ H29年度は、**18名**の既卒者にフォローアップ

### ◆ フォローアップ支援の内容

#### 1) 定着支援

- ・ 月一回程度の面談
- ・ 状況により、職場訪問
- ・ 業務内容、職場環境、職場の人との関わり等の確認
- ・ やりがい、困りごと、不安なことの聞き取り
- ・ 余暇の過ごし方・体調管理等への助言
- ・ 「働き続ける」ためのコツや工夫についての助言
- ・ QOLの向上やリフレッシュ方法、心身の健康への意識づけ

#### 2) 卒後就活支援

- ・ 在学中に就職が決まらない学生への卒後継続支援
- ・ 「一般雇用枠」と「障害者雇用枠」の両方を視野に支援
- ・ 地域就労支援機関と連携、適宜ケース会議を実施
- ・ 本人の得意な分野の能力が生かせる職場開拓

## 3. 事例

アスカさん：一般雇用枠で就職活動をしたが卒後障害者  
雇用枠で就職（卒後フォローアップ6年目）

- ① 当事者の視点から ～発達障害の特性を生かした就職を実現して～
- ② 支援者の視点から ～支援室で行なった支援について～



# ① 当事者の視点から

～発達障害の特性を生かした就職を実現して～

富山大学 卒業生 会社員

**アスカ**

# 項目

- 自己紹介
- 学生生活
- 就職活動
- 大学卒業後
- 就職後
- 仕事のやりがい
- 休日の過ごし方
- 当事者へのメッセージ

## ② 支援者の視点から

～支援室で行なった支援について～

富山大学 教育・学生支援機構 学生支援センター



アクセシビリティ・コミュニケーション支援室

Hub for Accessibility and Communication Support

コーディネーター 日下部貴史

# アスカさんに対する支援概要

□ 支援の経緯

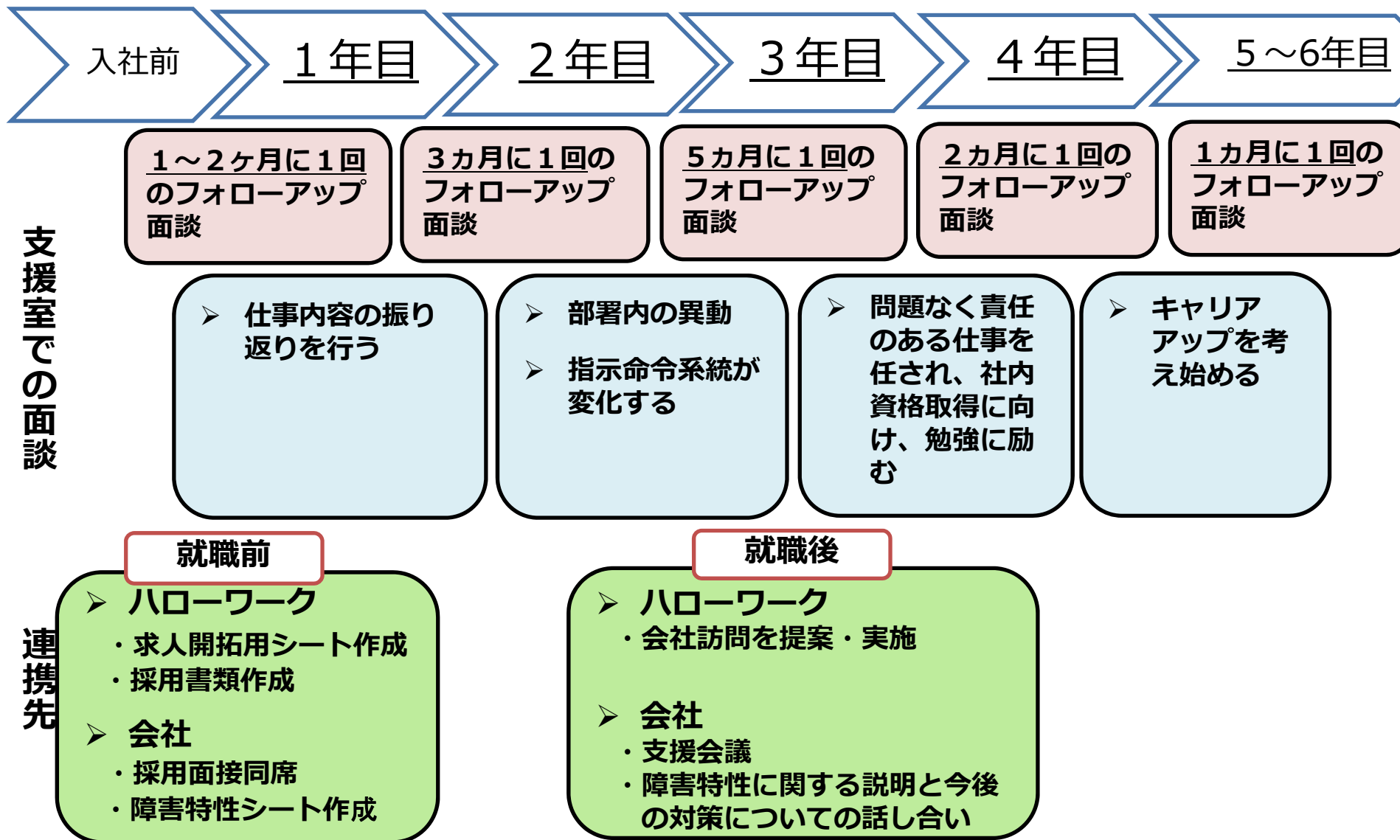
□ 就職支援

□ 卒業後

□ 採用決定

□ 就職後

# フォローアップ面談のニーズと頻度



※現在もフォローアップ支援（面談）を継続中。就職して**6年目**に入る

## 4. フォローアップ支援を通して 見えてきたこと

- フォローアップ事例を通して分かったこと
- フォローアップ支援からみえてきた心的変化と  
キャリア形成の芽生え
- まとめ



## フォローアップ事例を通して分かったこと

- 本人が自身の特性を理解し、自己選択（自己決定）することを支援しているため、卒業期までに雇用形態を選択するに至らない場合がある。個々のペースで進めることが重要であり、学生の揺れ動きを支援者は支える必要がある。
- 支援（修学支援や就職支援）の中で浮かび上がった自分自身の特性に関する理解が、就職後に困りごとを解決する際の糸口になる。
- フォローアップ面談で語られる内容は、在学生や家族、支援者にとってモデルとなり、事例の蓄積により、より良い就職支援の在り方が見えてくる。
- フォローアップ支援を通して、本人の内的成長や職業人としての自覚の芽生えなどが期待できる。



# フォローアップ支援から見えてきた 心的変化とキャリア形成の芽生え

## ■ 仕事への向き合い方の変化

✓ 「辞めたい」という気持ちから「続けていきたい」へ

## ■ 社会人としての豊かな生活

✓ 余暇の過ごし方・休日のリフレッシュ法・お金の使い方

## ■ キャリアの再考

✓ 仕事に慣れ、今一度、職業について考える時期へ（転職）

## ■ 自分に合った雇用形態への意識

✓ 一般雇用と障害者雇用等、自分の働き方について考える

## ■ 今後の人生設計や自立に向けて

✓ 社会的自立についてイメージし始める

支援者との対話の中で、今の自分を振り返り、働くことや自立を見つめ直し、「自分にとってキャリアとは何か」に向き合いはじめる。



## ■ 大卒の発達障害者のフォローアップを支える大学支援者の役割は大きい

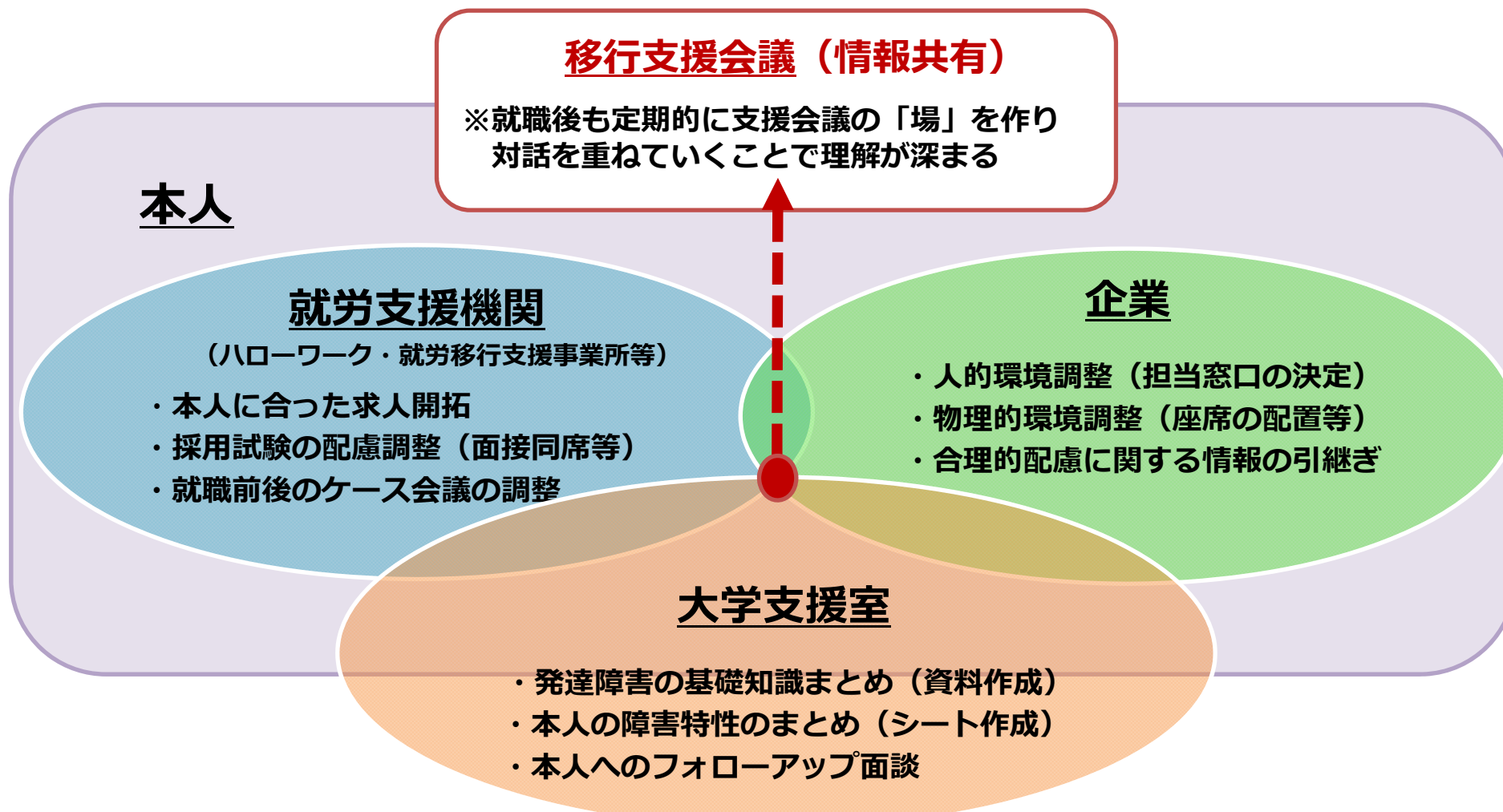
- ✓ 気軽に相談できる場と人
- ✓ 大卒発達障害者の職業生活をフォローアップする社会基盤
- ✓ 就労移行支援事業所や企業との連携

## ■ 就労支援機関や企業との連携のポイント

- ✓ 就職活動期に大学支援者と地域就労支援機関が協働し支援を展開することで、学生の戸惑いや混乱を最小限にすることができる。複数の当事者（本人・事業所・支援者）による「建設的対話の場」を重ねることが、スムーズな移行につながる。
- ✓ 大学で把握した「本人の強み」や「支援スタイル（対話のコツや本人に合った伝え方）」を、就労支援機関担当者と共有し、採用担当者に「できること」と「配慮のポイント」を伝えてもらうことで、発達障害の理解を促進するとともに、企業側の不安の軽減や職場環境の改善に効果があった。



# 大学と就労支援機関・企業との連携図



※大学で把握している支援スタイルや対話のコツ（本人に合った伝え方）を企業に引き継いでいく